

みの～れは頑張ることができるところ！

関根さんは水戸市の高校に通う3年生。小学校の高学年からぼんやりと女優になりたいと思っていたそうです。関根さんは「中学生の時、みの～れで劇団四季の公演を観た時にこれに入らないと人生後悔するぞー」と思い、そこから自ら指導し始めました。劇団四季の研修生を受けようと思っています」と話してくれました。

MYUに入団したきっかけを聞

いてみると、「お父さんが小美玉に勤めていて、マラソンをしてい

てみの～れに寄った時に、MYUの自己表現ワークショップのチラシを見かけてこんなのがあるよって持ち帰つてくれたのがきっかけで参加しました。今はOMTに入つて3か月ちょっとですが、

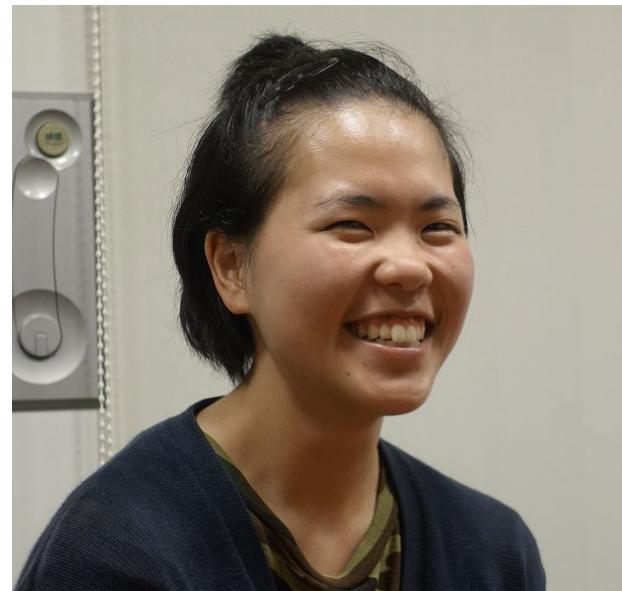
お芝居の勉強をしたり、タップダンスやジャグリングもやっている

ので、いろいろと経験できて自分のスキルをあげるために日々勉強しています。OMTに入ったばかりの頃は緊張ばかりでしたが、皆

さんが優しく受け入れてくれて、

お芝居以外にもいろいろ教えてい

みの～れ前四季の里広場にも、ねむの木の花が咲きはじめました。ねむの木の花は優しいピンク色で化粧用の刷毛に似ているとも言われています。見かけたらよく見てくださいね。蝉も大きな声で鳴きだして、もうすぐ梅雨が明けて暑い夏がやってきます。蒸し暑い夏をのりきるためには体にいいものを食べる食い養生をするといいそうです。今回は演劇ファミリーMYUのメンバーでOMT-JAPANでも活躍中の大洗町にお住いの関根文歌さんを取材します。



OMT-JAPAN
演劇ファミリー Myu メンバー
せきね あやか
関根 文歌さん

「お父さんにみの～れを見つけてもらって感謝しています。」と少し照れながら話す文歌さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.145

ただで温かく感じました。タップダンスを始めたばかりの頃は、きれいな「タン」っていう音ができなくて足首を柔らかくするといいんだよって言われて、足首を柔らかくするってどんな風だろう?って思っていたら、普通の靴でも毎日少しずつ練習をしているうちに、だんだんできるようになつてきました。この前のワークショップはタップダンスもいい経験になると思って参加しました。

自分のできることはどんどん増やしていくからなと思ひます」と楽しそうに話してくれました。

「毎週公演があつて忙しい時期もあるけど自分の経験にもなるし、やれることも増えていくので自分ではなるべく全部出られるように思っています。中学時代、先生に言つてもらえたのは、「100回の練習より1回の本番だよ」。何もやつていなくて「やばい!何もないで1日終わっちゃつた」というより忙しくくらいの方が自分は好きなのでちよつといで

「みの～れは自分の頑張ることができる場所。ここが無かつたら夢を持ついても実際に行動することができなかつたと思う。この場所を見つけてくれたお父さん、ここまで送迎してくれる親がいるからできること。そのため頑張れるところかな」と笑顔で話してくれました。

関根さんは笑顔がとても素敵で夢に向かってOMTでも活躍しています。ぜひ、素晴らしい公演を観に来てくださいね。

(藤田 佐知子)